

防衛大臣

森 本 敏 様

米軍横田基地に関する情報提供について（要請）

平成24年8月9日

瑞 穂 町
瑞穂町議会

米軍横田基地に関する情報提供について（要請）

横田基地は、昭和15年、当時の軍部により強制的に用地を買収され、陸軍多摩飛行場として設置されました。戦後、接收され米軍基地となり、昭和30年代には数次にわたる拡張がなされ、滑走路が瑞穂町の中心部をえぐるように伸びております。

このため町民は、常に航空機の騒音に悩まされ、いつ起こるとも知れぬ航空機事故に不安な日々を送ってまいりました。また、建築物の高度制限等の土地利用上の制約もあり、町の発展を大きく阻害されておりますが、国策による施設であるとして堪え忍んでまいりました。

平成11年4月23日、石原慎太郎氏が東京都知事に就任し、米軍横田基地の軍民共用化が表明されました。これに対し、瑞穂町議会では同年5月10日の臨時会において軍民共用絶対反対の決議を全会一致で採決し、それ以降、町とともに関係機関に対し要請してまいりました。

横田基地共用化に関する国の関係省庁と東京都との「連絡会」が12回開催されています。さらに、石原都知事の依頼により、本年4月の日米首脳会談において、地元への事前説明もなく野田総理が米政府に軍民共用化を要請したとの報道がありました。協議内容等の説明もないまま共用化へ向け既成事実を積み重ねていくような「連絡会」が開催されるのではないかと憤りを覚えるものであります。

また、横田飛行場のあり得べき軍民共同使用の具体的な条件や態様に関する検討を行う「スタディ・グループ」が8回開催され、平成19年10月までに検討を終了し、日米両政府はこの結果に基づいた適切な決定をするとされていましたが、未だ公表されないうままです。また、平成23年10月に横田基地所属のヘリコプターの緊急着陸、11月にC-130による嘉手納基地上

空での燃料放出等が起こり、平成24年2月と4月の横田基地所属軍人軍属による傷害事件が相次ぐ中、情報伝達に時間を要しているところであります。

さらに、普天間基地移設に関連して、在日米軍再編計画にも影響を及ぼすような見直し、それに伴う沖縄県の負担軽減策の情報が各種報道などから知らされるということは、沖縄県と同じく米軍基地を抱える当町としてより不安が募る状況であります。特に、6月13日の沖縄防衛局の発表において、普天間基地に配属予定のオスプレイが日本本土に設定された飛行ルートで訓練を行うとあり、町民の不安が高まっております。

このことから、在日米軍再編を含め、横田基地に関する情報について、正確かつ迅速に提供するよう強く求めます。

貴職におかれましては、飛行直下に位置し、航空機騒音被害をより多く受けている瑞穂町の実情をご賢察の上、特段のご配慮をいただきたく要請いたします。

平成24年8月9日

東京都西多摩郡瑞穂町

瑞穂町長 石 塚 幸右衛門

瑞穂町議会

議 長 青 山 晋

瑞穂町議会基地対策特別委員会

委 員 長 高 橋 征 夫